

令和元年6月25日
文教福祉常任委員会資料
健康長寿部健康生きがい課

平成30年度宇治市広野地域福祉センターの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第11条に基づき、別紙のとおり報告いたします。

平成 30 年度 事業報告書

令和元年 5月28日

施設名	宇治市広野地域福祉センター
団体名	一般財団法人 宇治市福祉サービス公社
代表者名	理事長 岡本 民夫

(1) 業務実施状況報告(30年度)

【管理運営の方針と結果】

「利用者とともに、市民とともに～利用者本位のあたたかいサービスの提供」をモットーに以下の運営方針を掲げた。

—運営方針—

- ・ 地域に根ざした福祉活動の拠点
- ・ 地域福祉活動の交流の場
- ・ 市民のニーズに合った施設
- ・ 安全で安心な施設

—結果—

- ・ 居宅介護支援事業所等に配置されている専門職が、介護相談等の相談に対応している。
- ・ 昨年度に引き続き感染症対策として、入り口に自動の消毒剤、各トイレにもアルコール消毒液、液体石鹸、手拭き用ペーパーを設置。食中毒、感染症に関する最新情報や具体的な予防方法の掲示と注意喚起を実施。
- ・ 学区福祉委員会やBタイプリハビリ等の活動・宇治市の介護予防事業のOG会の活動の場の提供
- ・ 施設の清掃、エレベーターの点検保守、風呂の水質検査等を実施。
- ・ 地域の小学校、中学校から生徒の福祉体験の受け入れをデイサービスにて行い、世代間交流を図った。
- ・ 宇治支援学校の生徒とともにセンターの花壇の整備、コミュニティカフェの参加協力等交流を図った。
- ・ 地域住民に福祉センターを知っていただく機会の創出として、今年度もコミュニティカフェを開催し、世代間交流を目的に224人の参加者があった。また、2月には地域福祉のつどいと合わせてコミュニティカフェを開催し、73人の皆様とともに地域の福祉団体の皆様の方々と「地域で支えるたすけ愛(あい)活動」テーマに地域の支え合い活動についてPRし、地域福祉活動の現状と課題について意見交換を行い、後半は軽食などを催し、交流を図った。

【施設の平等利用の考え方と実施した対策】

—平等利用の考え方—

- ・ 広野地域福祉センターは常に利用者に関われたものとし、公の施設であることを常に念頭におき、センターの利用者に対し、公平な運営を行う。

—実施した対策—

- ・ 利用証の提示の徹底、浴室利用の男女入れ替え時間の遵守、デイルーム内でテレビの音量や話し声等について他の利用者への配慮をしていただくこと等を利用者に周知し、全利用者が快適に過ごしていただけるよう配慮した。

【施設管理状況】 1. 利用拡大の取組結果

【平成 30 年度の取組結果】

1. センター管理運営委員会 年 2 回開催
 - ・ 各施設の利用数・利用回数の報告。
 - ・ 各委員に団体利用拡大（各所属団体でのセンター利用の拡大のための周知など）をお願いした。
2. 第 11 回コミュニティカフェの開催
本年度も地域福祉センターの知名度の向上とセンターを通して地域住民の皆様が地域福祉活動の向上を目指す事を目的に 10 月 8 日（月・祝）に開催。総勢 224 人の参加者があった。
3. 第 11 回広野地域福祉のつどいの開催
「地域で支えるたすけ愛活動」と題して、2 月 10 日（日）に第 11 回広野地域福祉のつどいを実施し、総勢 73 人の参加者があった。
地域福祉活動の発表（神明地区民生児童委員協議会・さわやか会（宇治市認知症予防 OG 会）により現状と課題について意見交換し、その後のコミュニティカフェ（フォークソングライブ等）を開催することにより、地域福祉センターの地域福祉拠点施設としての機能、福祉教育、啓発活動の拠点としての活用について PR した。
4. 第 6 回グッド！モーニングカフェひろの（介護者のつどい）
7 月 22 日（日）10：30～12：00 9 人の参加
「老いたく～遺言・相続・後見とは？」と題して、リーガルサポート京都支部の司法書士を講師に迎え、講演及びカフェタイムなどを実施し介護者のサポート、交流を図った。
5. 地域のサロン（城南荘木曜カフェ）・大開学区福祉委員会主催会食会等への PR
各サロンや研修会、会食会など定期的に職員を派遣し、レクリエーションやお話を通してセンター利用につながるよう積極的に足を運んだ。延べ 5 回程度
6. 世代間交流会を通して魅力あるセンターづくり
保育園、小学生などとデイサービス利用者や貸館団体との交流事業を行い、世代間交流を通して福祉活動拠点として魅力的な居場所づくりとなった。

【平成 29 年度の取組結果】

1. センター管理運営委員会 年 2 回開催
 - ・ 各施設の利用数・利用回数の報告。
 - ・ 各委員に団体利用拡大（各所属団体でのセンター利用の拡大のための周知など）をお願いした。
2. コミュニティカフェの開催
本年度も地域福祉センターの知名度の向上とセンターを通して地域住民の皆様が地域福祉活動の向上を目指す事を目的に 10 月 11 日（月・祝）に開催。総勢 113 人の参加者があった。
3. 第 10 回広野地域福祉のつどい
「地域で支えるたすけ愛活動」と題して、2 月 11 日（日）に第 10 回広野地域福祉のつどいを実施し、総勢 113 人の参加者があった。地域福祉活動の発表（城南荘木曜カフェ、はつらつ金曜会）により現状と課題について意見交換し、その後のコミュニティカフェ（フォークソングライブ等）を開催する

ことにより、地域福祉センターの地域福祉拠点施設としての機能、福祉教育、啓発活動の拠点としての活用についてPRした。

- グッド！モーニングカフェひろの（介護者のつどい）11月5日（日）10：00～12：00 15人の参加
「訪問看護サービスとは？生きる意欲をともに見つける」と題して、作業療法士による講義、センター事業の報告、カフェタイムなどを実施し介護者のサポート、交流を図った。
- 城南荘木曜カフェ・大開学区福祉委員会主催会食会等への出張PR
各サロンや研修会、会食会など定期的に職員を派遣し、レクリエーションやお話を通してセンター利用につながるよう積極的に足を運んだ。延べ10回程度
- 世代間交流会を通して魅力あるセンターづくり
保育園、小学生などとデイサービス利用者や貸館団体との交流事業を行い、世代間交流を通して福祉活動拠点として魅力的な居場所づくりとなった。

【平成28年度の取組結果】

- センター管理運営委員会 年2回開催
 - 各施設の利用数・利用回数の報告。
 - 各委員に団体利用拡大（各所属団体でのセンター利用の拡大のための周知など）をお願いした。
- コミュニティカフェの開催
本年度も地域福祉センターの知名度の向上とセンターを通して地域住民の皆様が地域福祉活動の向上を目指す事を目的に10月10日（月・祝）に開催。総勢約155人の参加者があった。
- 第9回広野地域福祉のつどい
「知って得する正しい薬の話」～そうだ薬剤師さんに聞いてみよう～と題して、2月26日（日）に第9回広野地域福祉のつどいを実施し、総勢120人の参加者があった。
テーマに沿った講演（城南薬剤師会 金山美沙薬剤師）、コミュニティカフェ（フォークソングライブ等）を開催することにより、地域福祉センターの地域福祉拠点施設としての機能、福祉教育、啓発活動の拠点としての活用についてPRした。
- グッド！モーニングカフェひろの（介護者のつどい）6月26日（日）10：00～11：30 9人の参加
「アロマセラピーのお話～ハンドマッサージを覚えて癒しの効果を体験しましょう～」と題して、看護師による講義、様々なアロマを使用してのハンドマッサージ体験、カフェタイムなどを実施し介護者のサポート、交流を図った。

【平成27年度の取組結果】

- センター管理運営委員会 年2回開催
 - 各施設の利用数・利用回数の報告。
 - 各委員に団体利用拡大（各所属団体でのセンター利用の拡大のための周知など）をお願いした。
- 宇治市パワーリハビリ事業、一般パワーリハビリ教室、足しっかり体操教室、足腰改善体操教室。
平成27年度 利用者総数 8,062人。
- コミュニティカフェの開催
本年度も地域福祉センターの知名度の向上とセンターを通して地域住民の皆様が地域福祉活動の向上を目指す事を目的に10月12日（祝・月）に開催。総勢約150人の参加者があった。
- 第8回広野地域福祉のつどい
「いつまでも自分の足で歩き続けていくために」～ロコモを予防して健康寿命を延ばそう！～と題して、2月21日（日）に第8回広野地域福祉のつどいを実施し、総勢103人の参加者があった。
テーマに沿った講演（宇治市福祉サービス公社 介護予防サポートセンター 理学療法士 川村久美子）、質疑応答、コミュニティカフェ（青春歌声広場等）を開催することにより、地域福祉センターの地域福祉拠点施設としての機能、福祉教育、啓発活動の拠点としての活用についてPRした。
- グッド！モーニングカフェひろの（介護者のつどい）
6月21日（日）10時00分～11時30分 13人の参加
食から始まる健康生活 ～おいしく食べて元気に過ごそう！～と題して、管理栄養士による栄養、食

事形態、嚙下、熱中症の講義、様々な食事形態の試食などを実施し介護者のサポート、交流を図った。デイルーム・浴室の利用者が増加、各団体の介護者教育室・会議室の利用回数は大きく変動はなかったが、センター全体の総利用者数は増加した。

【施設管理状況】2. 広報実施結果

- ・ センター受付窓口や書棚にてセンターパンフレットや市の委託事業のリーフレットを設置。掲示板等においても案内することで、利用促進に努めた。
- ・ 既存の利用者に対して、隣人や知人等にセンター利用希望者があれば案内していただくよう、協力をお願いした。
- ・ コミュニティカフェ、地域福祉のつどいにて幅広い世代に広報を行い、利用促進を図った。
- ・ 館内の掲示板にて、利用団体の活動の様子や作品の展示を行いボランティア活動の啓発を行った。
- ・ ホームページ（ブログ）にて、地域福祉センターに関する各種取り組み、お知らせ等の情報発信し、利用促進に努めた。

【施設管理状況】3. 職員配置状況

センター長	1名（宇治市福祉サービス公社広野事業所所長兼任）
受付及び管理職員及び営繕	4名（広野デイサービスセンター長、デイサービスチーフ、事業所事務、管理人）
浴室清掃	2名（広野デイサービスセンター補助員兼任）

【施設管理状況】4. 地域、関係機関、団体、登録団体等との連携結果

—連携の考え方—

- ・ 宇治市や住民団体等との共同イベント等を積極的に進めるとともに、それらが開催するイベント等へ積極的に支援協力をする。

—連携の結果—

1. 大開学区福祉委員会、幹事会・総会・会食会等の会場としての参加及び会場提供。また学区福祉委員主催のふれあいサロン撫子の会の会場提供（月1回）。
また大開小学校3年生の職場見学を2日間実施。世代間交流、地域福祉学習の一環として学校、大開学区福祉委員会と事前に打ち合わせを行い、大開学区福祉委員会の方にも応援、協力をいただいた。
2. ホット大開 Bタイプリハビリ会場としてセンターを開放。年3回（共同消防訓練と保育園との交流会・大開小学校3年生との交流会）を実施。
3. 宇治中学校、広野中学校の体験実習を通して、センター機能や各施設の利用状況などの学習支援を行った。
4. 教職課程 介護体験等実習について、地域在住の大学生の受け入れを行った。
5. 館内の掲示板に、センターで活動している団体の作品や活動の様子その他、京都府立宇治支援学校のカフェのパンフレット等を展示。
6. 京都府立宇治支援学校の作業学習の受け入れを行い、センターの花壇の花の植え替え・メンテナンスを実施していただいた。（月1回 長期休暇期間を除く）
7. 「コミュニティカフェ」の開催 ～ハロウィンパーティー～
開催日時 平成30年10月8日（月・祝）
参加人数 224人
大開小学校 金管バンド、和太鼓サークル「華音」による「和太鼓演奏&体験」、キッズコーナー（フェイスペイント・おばけやしき・綿菓子等、障害者施設による授産品販売による交流を行った。

8. 「地域福祉のつどい」の開催

開催日時 平成31年2月11日(日) 11:00~13:00

参加人数 73人

後援 宇治市・宇治市社会福祉協議会

協力 大開学区福祉委員会・城南荘連合町内会・神明民生児童委員協議会・東広野自治連合会・東広野山吹卒寿会・広野地区自治会連合会

「地域で支えるたすけ愛(あい)活動」と題して活動発表会と、コミュニティカフェによる交流を行った。

9. グッド! モーニングカフェひろの(介護者のつどい) 7月22日(日) 10:30~12:00 9人の参加

「老いたく~遺言・相続・後見とは?」と題して、司法書士による講義、カフェタイムなどを実施し介護者のサポート、交流を図った。

10. 地域のサロン(城南荘木曜カフェ)・大開学区福祉委員会主催会食会等への出張PR

各サロンや研修会、会食会など定期的に職員を派遣し、レクリエーションやお話を通してセンター利用につながるよう積極的に足を運んだ。延べ10回程度

11. 各種総会及び幹事会の出席

大開学区福祉委員会 総会 4月27日(金) 19:30~20:30

大開学区福祉委員会 幹事会 9月7日(金) 19:30~20:30 計2回

【施設管理状況】5. トラブル対応、防犯、防災対策状況

1. 年2回の消防訓練(平成30年6月27日)・非常災害訓練(平成30年12月12日)の実施。
2. 施設管理人による定期防犯・防火巡回の実施・備品管理
3. 警備会社による通報点検。

【施設管理状況】6. 利用者要望の把握状況及び実施策

利用者の皆様に来所、退所時に挨拶を行い、その都度何か問題があれば、気楽に話をしていただけるような雰囲気づくりを行った。利用者からのご意見については、必要に応じて迅速な対応に努めた。

【サービス向上取組内容】

【平成30年度の取組結果】

- ・ 利用者が気持ちよく利用していただく為に、職員一同明るい挨拶を積極的に行った。
- ・ マッサージ器、ヘルストロンのカバー等、定期的な清掃による衛生管理を実施し、気持ちよく使用していただけるようにした。
- ・ 玄関に自動手指消毒剤を利用者の使いやすい高さに設置し、トイレにも液体石鹸、アルペット消毒液、ペーパータオルを置くなど感染症対策を講じた。また、感染症に関する最新情報の掲示や感染予防方法の掲示を行った。
- ・ コミュニティカフェを開催し、福祉センターの活動状況を地域にPRした。
- ・ 作品展示用に設置した掲示板を活用して、利用団体の作品や活動の様子、デイサービス利用者の作品、宇治支援学校の生徒が運営するカフェのパンフレット、新聞記事を展示し、情報発信や交流の機会を設けた。

【平成29年度の取組結果】

- ・ 利用者が気持ちよく利用していただく為に、職員一同明るい挨拶を積極的に行った。
- ・ マッサージ器、ヘルストロンのカバー等、定期的な清掃による衛生管理を実施し、気持ちよく使用していただけるようにした。

- ・ 玄関に自動手指消毒剤を利用者の使いやすい高さに設置し、トイレにも液体石鹼、アルペット消毒液、ペーパータオルを置くなど感染症対策を講じた。また、感染症に関する最新情報の掲示や感染予防方法の掲示を行った。
- ・ コミュニティカフェを開催し、福祉センターの活動状況を地域にPRした。
- ・ 作品展示用に設置した掲示板を活用して、利用団体の作品や活動の様子、デイサービス利用者の作品、宇治支援学校の生徒が運営するカフェのパンフレット、新聞記事を展示し、情報発信や交流の機会を設けた。

【平成 28 年度の実績結果】

- ・ 利用者が気持ちよく利用していただく為に、職員一同明るい挨拶を積極的に行った。
- ・ マッサージ器、ヘルストロンのカバー等、定期的な清掃による衛生管理を実施し、気持ちよく使用していただけるようにした。
- ・ 玄関に自動手指消毒剤を利用者の使いやすい高さに設置し、トイレにも液体石鹼、アルペット消毒液、ペーパータオルを置くなど感染症対策を講じた。また、感染症に関する最新情報の掲示や感染予防方法の掲示を行った。
- ・ コミュニティカフェを開催し、福祉センターの活動状況を地域にPRした。
- ・ 夏季はデイルーム窓際屋外によしずを設置し、室温上昇を抑制した。
- ・ 作品展示用に設置した掲示板を活用して、利用団体の作品や活動の様子、デイサービス利用者の作品、宇治支援学校の生徒が運営するカフェのパンフレット、新聞記事を展示し、情報発信や交流の機会を設けた。

【平成 27 年度の実績結果】

- ・ 利用者が気持ちよく利用していただく為に、職員一同明るい挨拶を積極的に行った。
- ・ マッサージ器、ヘルストロンのカバー等、定期的な清掃による衛生管理を実施し、気持ちよく使用していただけるようにした。
- ・ 玄関に自動手指消毒剤を利用者の使いやすい高さに設置し、トイレにも液体石鹼、アルペット消毒液、ペーパータオルを置くなど感染症対策を講じた。また、感染症に関する最新情報の掲示や感染予防方法の掲示を行った。
- ・ コミュニティカフェを開催し、福祉センターの活動状況を地域にPRした。
- ・ 夏季はデイルーム窓際屋外によしずを設置し、室温上昇を抑制した。
- ・ 作品展示用に設置した掲示板を活用して、利用団体の作品や活動の様子、大開小学校児童やデイサービス利用者の作品、宇治支援学校の生徒が運営するカフェのパンフレット、新聞記事を展示し、情報発信や交流の機会を設けた。

【管理経費削減の具体策と結果】

【平成 30 年度の実績結果】

- ・ 浴室、トイレ利用の市民の方には資源を大事に使っていただくため、節水運動へのご協力を呼びかけた。年間を通じた節水キャンペーンの継続実施
- ・ デマンド監視装置により最大消費電力の管理の他、夜間不要電灯の消灯、エアコンの必要部所のみでの起動、夏季エアコン始動時の一斉入力回避（部屋ごとに始動）、デイルーム利用者不在時のエアコン停止、消灯、窓際によしずを設置し室温上昇を抑制するなどにより電気料金の節約に努めた。
- ・ 電気/水道/ガス使用量の日常管理
電気/水道/ガス利用状況を日々確認し、データ入力管理を行い漏水等の未然防止対策として日常管理を徹底し節減に努めたが、前年度より約 38 千円増えた。

平成 27 年度から 30 年度の経費（光熱水費）実績

		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	前年度比 (%)
電気	千円	1,027	911	970	894	92.2
ガス	千円	673	514	528	547	103.6
水道	千円	424	512	480	575	119.8
合計	千円	2,124	1,937	1,978	2,016	101.9

【平成 29 年度の実績】

- ・ 浴室、トイレ利用の市民の方には資源を大事に使っていただくため、節水運動へのご協力を呼びかけた。年間を通じた節水キャンペーンの継続実施
- ・ デマンド監視装置により最大消費電力の管理の他、夜間不要電灯の消灯、エアコンの必要部所のみでの起動、夏季エアコン始動時の一斉入力回避（部屋ごとに始動）、デイルーム利用者不在時のエアコン停止、消灯、窓際によしずを設置し室温上昇を抑制するなどにより電気料金の節約に努めた。
- ・ 電気/水道/ガス使用量の日常管理
電気/水道/ガス利用状況を日々確認し、データ入力管理を行い漏水等の未然防止対策として日常管理を徹底し節減に努めたが、前年度より約 41 千円増えた。

【平成 28 年度の実績】

- ・ 浴室、トイレ利用の市民の方には資源を大事に使っていただくため、節水運動へのご協力を呼びかけた。年間を通じた節水キャンペーンの継続実施
- ・ デマンド監視装置により最大消費電力の管理の他、夜間不要電灯の消灯、エアコンの必要部所のみでの起動、夏季エアコン始動時の一斉入力回避（部屋ごとに始動）、デイルーム利用者不在時のエアコン停止、消灯、窓際によしずを設置し室温上昇を抑制するなどにより電気料金の節約に努めた。
- ・ 電気/水道/ガス使用量の日常管理
電気/水道/ガス利用状況を日々確認し、データ入力管理を行い漏水等の未然防止対策として日常管理を徹底し節減に努め、前年度より 187 千円節減できた。

【平成 27 年度の実績】

- ・ 浴室、トイレ利用の市民の方には資源を大事に使っていただくため、節水運動へのご協力を呼びかけた。年間を通じた節水キャンペーンを継続実施した。
- ・ 夜間不要電灯の消灯、エアコンの必要部所のみでの起動、夏季エアコン始動時の一斉入力回避（部屋ごとに始動）、デイルーム利用者不在時のエアコン停止、消灯、窓際によしずを設置し室温上昇を抑制するなどにより電気料金の節約に努めた。
- ・ 電気/水道/ガス使用量の日常管理
電気/水道/ガス利用状況を日々確認し、データ入力管理を行い漏水等の未然防止対策として日常管理を徹底し節減に努め、前年度実績を下回る結果となった。但し、ガス代はボイラー設備故障による浴室解放の休止期間が 1/25～2/2 の土日除く計 7 日間あったこと、暖冬による床暖房の使用機会減少の影響がある。

<p>【管理能力】職員研修計画と実施状況</p> <p>—職員研修計画—</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理人に対する接客研修の実施。 当センターに勤務する従業員の施設管理に関する研修。 <p>—実施状況—</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設管理人と適宜ヒアリングを行い、必要に応じてマニュアルの再確認、電話応対等の管理人業務指導を行った。 年間研修計画に基づき、感染症予防、接客、個人情報保護、人権等に関する研修を実施した。 通報、避難誘導、初期消火に関する消防訓練を実施した。 センター内利用者の救急蘇生の対応能力を向上させるため、AED講習に係る応急手当普及講習会を実施した。
<p>【個人情報保護措置と実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当法人が定める「個人情報保護規程」に基づき、基本方針及び利用目的を掲げ、個人情報の漏洩、滅失、毀損の防止、その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じた。 平成30年度は個人情報の開示請求はなかった。
<p>【情報公開対応と実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文書の開示等情報公開については当法人が定める「情報公開規程」に基づき取り扱った。 平成30年度は、実施事例はなかった。
<p>【その他】特記すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし

(2) 施設利用状況報告(30年度)

【施設利用状況】 1. 入館者数

平成27年度から平成30年度の入館者数(人)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比(%)
デイルーム利用者数	3,582	3,409	4,599	3,870	84.1
浴室利用者数	2,503	2,090	1,653	1,483	89.7
介護者教室・会議室	3,966	4,188	3,161	6,690	211.6
料理教室	1,401	1,495	680	866	127.4
合計	11,452	11,182	10,093	12,909	127.9

【施設利用状況】 2. 貸館状況

平成27年度から平成30年度の貸館状況

区分	件数 人数	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比(%)
介護者教育室 ・会議室	件数	138	153	151	262	173.5
	人数	3,966	4,188	3,161	6,690	211.6
料理教室	件数	61	54	32	43	134.4
	人数	1,401	1,495	680	866	127.4
合計	件数	199	207	183	305	166.7
	人数	5,367	5,683	3,841	7,566	197.0

※30年度の団体の介護者教育室・会議室、料理教室の利用件数、人数は増大している。

(3) 管理経費収支状況報告(30年度)

(単位:千円)

施設名		宇治市広野地域福祉センター			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	5,739	6,191	指定管理料	
	その他	0	0		
収入合計(A)		5,739	6,191		
支出	人件費	2,150	2,173	賃金・法定福利費等	
	事務費	84	114	消耗品費 通信運搬費等	29 85
	管理費	3,505	3,904	光熱水費 委託料 修繕費	2,018 1,476 410
	事業費	0	0		
	その他	0	0		
支出合計(B)		5,739	6,191		
収支(A) - (B)		0	0		

※ 1年間の収支を記入すること(年度途中開館の場合は開館から年度末まで)
内容は詳細に記入し別途資料がある場合は添付すること

(4) - 1 事業実施状況報告(30年度)

※事業=公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
/		

